

篠崎将 里山ある記 廣幡八幡宮



廣幡八幡宮は1200年以上の歴史ある神社であり、古くから鎮守の森として宮司さんや地元の人々に守られてきました。鳥居を入ってまず気が付くことは、参道の落ち葉がきれいに掃き清められており、清々しい気持ちで参拝できるようになっていることです。

また巨木の多いのに目を奪われます。近年、倒木の恐れがあるということで、一部の古木は伐採されましたが、まだ木の周囲が2mを超す樹木が多数あり、中には3mを超えるものもあります。巨木ばかりでなく神社林の林床植物も保護が行き届いており、キンラン [千葉県保護種、以下(保)]、ギンラン(保)、シュンランはじめ、ジユウニヒトエ(保)、ヒトリシズカなどが明るいうちで群生しており、ワニグチソウ、ナルコユリ、イチリンソウ、ニリンソウ、カラタチバナ、トリカブトなども点在しています。

鳥類は多くはありませんが、エナガ(保)、シジウカラ、アオジ、コゲラ、ヤマガラ(保)、ウグイス(保)などが生活しています。昆虫は、ハグロトンボ、マイコアカネ、ノシメトンボなどが多く見られます。

この森が今あるのは、歴代の宮司さんや地元の人々が、枝打ちや落ちた枝の処理など維持管理に努力されてきた結果と思われる。7月に訪れた時も、庭園業者によって、古木の根元に活性剤を注入する作業が行われていました。高木および林床植物とともに、この貴重な自然環境を次の世代に残したいものです。なお植物保護のため、参拝路以外の境内への立ち入りはできません。

ふる協からのお知らせ

- 救急救命講習会 10月19日・11月23日
- 文化祭 11月1～2日
- 地域ふれあいのつどい 11月9日
- ちいき探検ウォーキング 11月30日
- 環境フェア2014パネル展 12月6～13日
- 年末夜間パトロール 12月28日
- ※詳細は回覧、チラシ等でお知らせします。

幻想的な無数の光 文化体育部主催ホタル見学会

多くの方々に地域を知り地域に触れていただきたいと、文化体育部では平成24年度より「ちいき探検ウォーキング」を行っています。今年度は7月8日に、初めての試みとしてホタル見学会を開催し、70名が参加しました。

雨の日が続く中、幸いなことに当日は晴れ。増尾近隣センターで、日本自然保護協会自然観察指導員の篠崎将さんより、お話を伺った後、真っ暗な道を通って会場である中原小学校下の「増尾の森」に向かいました。

丹羽雄司会長はじめ「柏ホタルの会」の皆さんの案内で森の中に移動すると、木々に囲まれた水辺の空間にはすでに無数のホタルが飛び交っていました。「あっちに見えた」「こっちにもいる」「初めて見た」「何年ぶりか」。子どもも大人も思わず声を上げ、感動的、幻想的な夏の夜のひとときを共有しました。説明によれば、この地のホタルは幼虫を飼育し放流しています。会では自然発生を目指していますが、近年水が減少し心配、とのことでした。

「柏ホタルの会」の皆様にご覧会期間中の貴重な1日を割いていただき、この企画が実現しました。

文化体育部 小林 みつえ

増尾ジェンヌの会のお知らせ

6月18日に「アロマスプレー作り講座」を開催し、最近話題の認知症の予防や改善に効果的なスプレーや、安眠用、消臭除菌用、虫除け用などオリジナルスプレーを作り大好評でした。「苔玉作り」(10/22)、「ハンドトリートメントサロン」(12/17)を開催予定です。お楽しみに。
* 会員募集中。月1回程度の活動です。一緒にアロマセラピーを楽しみませんか。

お問い合わせ 日暮 (TEL 7175-4812)

ボランティア募集中

障がい者福祉施設で、毎月第4金曜日、午前9時30分から12時まで、簡単な作業(園芸、手芸他)のお手伝いをして下さる方を募集しています。
地区社協部 吉川(TEL 7176-3631)まで、お問い合わせ下さい。



ますお



吉田 稔筆

みんな元気 住んで良かった この地域

平成26年10月 No.111

●編集・発行
柏市増尾地域ふるさと協議会
(土地区社会福祉協議会)

〒277-0033
柏市増尾三丁目1番1号
増尾近隣センター内

☎ 04-7174-7211
http://masuo80@live.jp

多世代交流コミュニティー サロンつちのこがスタート

地域の子どもたちを地域で見守り育てる、大人も大人同士や子どもたちと交流を図ることの出来る場を作りたいという思いで立ち上げた「サロンつちのこ」。話し合いを重ね、入念に準備をして、7月5日のオープンを迎えることができました。

オープニングフェスティバルでは、子どもたちは竹筒を使った飯ごう炊さんを体験したり、竹とんぼを飛ばしたり、小中学生チームのタップダンスショーを楽しんだりしました。地域の有志の方々や障がい者団体の協力で、野菜や手作りのお菓子、小物など多数の出店があり大盛況でした。また、昭和初期の農業や生活の様子分かる「ふるさと資料室」が公開され、農機具の説明や「縄ない(縄編み)」や「むしろ編み」の実演が行われました。

7月12日のオープン後初めてのサロンには小学生9名が参加し、宿題やトランプをして過ごしました。大人も9名が訪れ、子どもたちの輪に加わりました。

「サロンつちのこ」は、多世代が気軽に集まれる交流の

場であり、楽しく遊べる場です。工作、手芸、囲碁など各種講座も企画しています。たくさんの方のおいでを待ちしています。
サロンつちのこ 小林 千久美



みんなが集まると何かが始まる

日時 毎週土曜日 午後1時～4時30分(11～3月は4時) ※祝日、年末年始等はお休み
場所 土小学校第4校舎1階



私の町会・自治会だより

皆さんの町会・自治会を紹介していくコーナーです。

増尾東映自治会

増尾東映自治会は、増尾駅から東へ約1キロ、逆井駅からは北へ1キロに位置し、周辺にはまだ緑が多く、自治会内はほとんどが一戸建ての閑静な住宅地です。

当自治会も、高齢化が進んでおり、高齢者だけの世帯が増えつつありますが、囲碁、お茶、フラワーアレンジメント、絵の会など、同好会活動によって

親睦を図っています。

犯罪の無い安全・安心な街を目指して、自主防災組織のパトロール隊は、週に10回程度、自治会内を回っています。防犯灯は約50基あり、5年計画でLED化を進めており、今年度は3年目で約6割がLED灯になります。
会長 沼田 明宏



親子料理教室

ハヤシライスを作ったよ



8月3日午前9時30分、小学1年生から6年生の12組の親子が増尾近隣センター調理室に集まり、料理教室が始まりました。

メニューは、たっぷりトマトのハヤシライス、スパゲッティサラダ、きら☆シュワグレープフルーツゼリーの3品。初めは緊張気味の子どもたちでしたが、真剣に材料を計量し刻むなど、力を合わせて仕上げている中で、キラキラした眼差しが見られ、チームワークもアップ。完成した料理を頬張りながら、「自分で作ったハヤシライスはおいしいなあ」「玉ねぎでたくさん涙が出ちゃったよ」「グレープフルーツゼリー作りが一番楽しかったな」と笑顔で感想を聞かせてくれました。

親子で料理を作ると、食事がより楽しくおいしくなることが分かった有意義な一日でした。

地区社協部 藤田 祥子

パンダと一緒に記念撮影 ちびっこ体操教室

ボランティアの方が着ぐるみのパンダさんと女の子の姿で子どもたちをお出迎え。記念写真は、一緒にポーズを取りパチリ。みんな大喜びです。例年7月に開催していた「ちびっこ体操教室」ですが、今年は暑さ対策から1週間早い6月28日に増尾近隣センター体育室で開催しました。



パンダさんたちと一緒にハイ、ポーズ!

石原由紀子先生の元気な掛け声で、まずは準備体操から。20名のちびっこは、お父さん、お母さん、おばあちゃんとペアになり、押したり引いたり、のびたりちぢんだり体をほぐします。水分補給をしながら、並べられた遊具を使ってびよびよんと跳ねる子、輪になった段ボールを車輪に見立てキャタピラーになる子、蛇腹のトンネルをくぐる子。みんな、体育室を元気一杯に走り回ります。最後は、体操で呼吸を整えクールダウン。

来年、また来てね。 文化体育部 小林 みつえ

増尾近隣センター主催 ニュースポーツで遊ぼう

夏休み中の8月6日午後3時から、増尾近隣センター体育室で「ニュースポーツで遊ぼう」を開催。小学生9名と中学生1名が参加しました。カローリング、バグーなどで遊び、最後は大人対子どもで「ふわどっち」の合戦。全力で戦い、汗を流しました。

総務広報部 嶋田 由紀江



ねらいを定めて

救急救命講座 命を救う応急手当

「救急車の出動要請は年々増加、今では現場に到着するまで8分以上かかります。そこに居合わせた人が助けを呼び、応急手当をすることが傷病者の今後の社会復帰を大きく左右します」。こう解説するビデオで始まった今年度第1回『救急救命講座』を、6月15日増尾近隣センターで開催しました。東部消防署7名の救急隊員を迎え、地域の希望者26名が参加。看護経験のある方や「学校の救命講習を受けそなたから」と言う女子高校生も加わり、質問を交えながら真剣に取り組み、あっという間の3時間でした。救急隊の方の「皆さん、とても優秀でした」との言葉と一緒に、全員が講習修了証を手にしました。帰り際に、「歳なのだから今更受けなくても、家族に言われました。でも、来てよかった。私にも出来る事が分かりました」と誇らしげな後姿に、主催者として一礼で見送りました。 防犯防災部 間宮 節子

ゆく夏

We Love Kashiwa
60th Anniversary

夏の風物詩“お祭り”。今年も各町・自治会で催されました。

7月19日・20日に開催の松野台自治会は、1日目が悪天候のため中止。2日目は、開始時間を繰り上げての開催となりました。今年も、お父さん仮面ライダーが大奮闘です。加賀町会は、8月2日・3日に開催し、地域のみなさんが日頃の練習の成果を披露しました。増尾町会は8月16日・17日。初日、はっきりしない空模様の

中での開始でしたが、今年は踊りの輪が一段と大きくなりました。8月23日には、南ヶ丘自治会で開催され、太鼓の練習を頑張った子どもたちが、毎年心地よい太鼓の響きを聞かせてくれます。第一住宅増尾団地自治会は、今年で3年目となる夏祭りを8月23日・24日に。柏南高校の生徒による吹奏楽も恒例となりました。どここの会場も、子どもたちが大勢つどい、夏休みの記憶の一角に。 総務広報部 嶋田 由紀江



待ちに待った2日目、会場は子どもたちでにぎわいます 松野台自治会夏祭り (7/19・20)



子ども会の出店では準備におおわらわ 増尾町会夏祭り (8/16・17)



いなせな担ぎ手の汗に心意気を感じます 加賀町会夏祭り (8/2・3)



柏南高校の熱演に、聴衆も熱中 第一住宅増尾団地自治会夏祭り (8/23・24)



指導のお兄さんの見守る中、腕前を披露します 南ヶ丘自治会夏祭り (8/23)

名戸ヶ谷町会 初の防災訓練実施

8月24日午前10時、会場となった増尾城址公園に町会員60名が参集。町会として初めての防災訓練を実施し、柏市役所防災安全課職員、東部消防署員、消防団員の指導を受けました。水消火器を使い消火の仕方、AEDでの心肺蘇生法などを体験、また起震車に乗って震度7の揺れを体感しました。家族での参加が多く、真剣な顔で確認し合う様子が見受けられました。

総務広報部 嶋田 由紀江

